

【代表的な研究テーマ】

- 中世ヨーロッパ史研究**
- 中世図像資料の歴史教材化**

Keyword : 中世ヨーロッパ、チェコ、図像資料、歴史教育

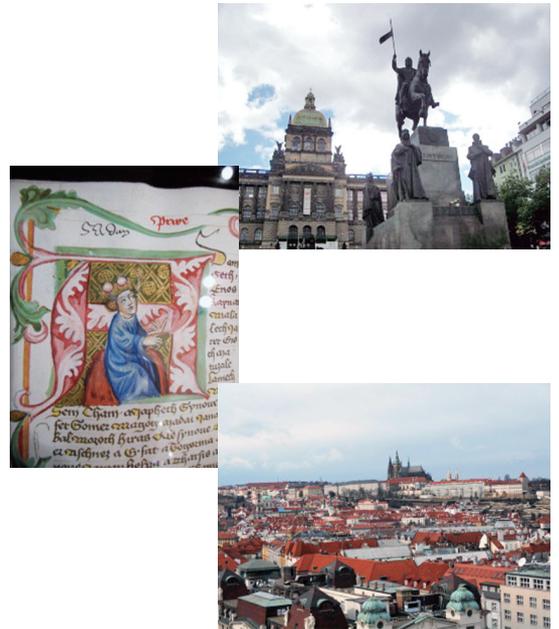
研究の概要

1) 中世ヨーロッパ史研究

具体的な専門は中世チェコ史になりますが、サブテーマとして、①中世の民族意識、②植民運動、③聖人崇敬、④宮廷文化、⑤初期宗教改革、などもあついています。また、ポーランドやハンガリーといった周辺の東中欧諸国、あるいはこの地域の近現代史にも関心をもっています。

2) 中世図像資料の歴史教材化

現在、各国の図書館で中世ヨーロッパの図像資料のデジタル化がすすめられています。教員志望の学生・院生とともに、そうした図像資料の解読と、これを利用した世界史授業の構築を模索しています。その成果は静岡大学『人文論集』で公開しています（web上での閲覧可能）。



アピールポイント

・特筆すべき研究ポイント：

- ①西洋史全般のほか、チェコ語・チェコ事情に関するレクチャーが可能です。
- ②人文社会科学部歴史学コースの教員と、高校の社会科教員、さらに教員志望の学生・院生とともに、毎月1回地歴教員養成講座を開催し、最新の歴史研究の成果や歴史の教育方法についての学びの場を設けています。「養成」と銘打ってはいますが、歴史や歴史教育に関心のある市民の方も参加可能です。

・関連書籍等：

2019年3月に『大学的静岡ガイド』（昭和堂）が刊行されました。  
『中世仕事図絵』（八坂書房）が増刷されました。



藤井 真生

学術院人文社会科学領域  
人間・社会系列  
教授

■ 相談に応じられる関連分野

- ・西洋史研究
- ・東中欧事情
- ・歴史教育

■ その他の社会連携活動

- ・地歴教員養成講座の運営
- ・教員免許状更新講習